

まちの話 だい

5月2日 | 豆茶たちも茶祖に祈念

立春から88日目の「八十八夜」に、茶祖・栄西禅師の遺徳をしのび、茶業のさらなる発展を祈願する「茶感謝祭」が、牧之原公園で開かれました。

式典には、茶業関係者ら約100人が出席。代表者が立像前の祭壇に新茶を供えた後、かなや茶娘大使と五和幼稚園の年長女兒13人が、かすりの着物にあかねだすき姿で登場。金谷音頭などを披露し、会場に華を添えました。



5月12日 | 母へ贈る感謝の気持ち

「母の日」を前に湯日小学校で、大井川農協職員と地域の花弁農家を講師に招いた「フラワーアレンジメント教室」が行われました。

参加した全校児童38人は、地元で収穫されたバラやガーベラ、トルコギキョウなどを吸水スポンジに挿し、自分だけのアレンジメント作りに挑戦。最後に母親や家族への感謝をカードに記して花に添え、笑顔で持ち帰りました。

5月16日 | 中学生が描く川越の未来

市内の中学生8人が、職場体験で島田市博物館を訪れました。今年は博物館業務に加え、川越遺跡の活用という課題について考えました。

生徒たちは施設見学の後、職員の説明を聞いて遺跡の現状を分析。まとめの意見交換会では「英語の表記が少ない」「劇や紙芝居で昔の生活を再現しては」など、鋭い指摘や新企画のアイデアが多く生まれていました。





5月7日 | 自分だけの世界を絵本に

島田市出身の画家、永田治子^{ながたはるこ}さんによる「絵本をつくってみよう」講座が、金谷公民館で開かれました。

参加した8組20人の親子は「自分の好きな木」というテーマを表紙絵で表現。中身には白紙のページを貼り付けて、絵本を作りました。白紙には「絵を描き自分だけの絵本を創り上げて欲しい」という永田さんの思いが込められています。

5月8日 | 地域の力で駄菓子屋開店

中溝町公会堂で、地元自治会や母親たちが運営する駄菓子屋コミュニティ「なかみぞさんち」がオープンしました。

この企画は、子どもたちが店に行く機会を作り、自分のお金で買い物する体験をさせたいという、住民の思いで立ち上げられました。訪れた子どもたちは、握りしめたお小遣いをやりくりしながら、思い思いのお菓子を買って喜んでいました。



5月31日 | 考えようタバコと健康

世界禁煙デーに合わせて、JR島田駅と六合駅で、禁煙キャンペーンが行われました。

島田駅では、島田薬剤師会の薬剤師や市職員が「おしまちゃん」と一緒に、啓発パンフレットなどを通勤・通学客に配布。同会の宮崎博光^{みやざきひろみつ}副会長は「吸う人は、周囲を気遣った喫煙を心掛けて欲しい」と禁煙や喫煙のルール・マナーについて呼び掛けました。